アライバルー侵略者ー（1996）

THE ARRIVAL

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 115分
初公開日 1996/10/26
公開情報 にっかつ提供／ギャガ＝ヒューマックス

【解説】

個性的な娯楽派脚本家Ｄ・トゥーヒーとしては「グランド・ツアー」に次ぐ監督第２作で、初のメジャー作品になるＳＦ大作。宇宙観測所に務める科学者ゼイン（Ｃ・シーン）は、ある夜、正体不明の電波をキャッチする。地球外生命の証拠に間違いないとデータをＮＡＳＡに提出するが、ボスであるゴーディ（Ｒ・シルヴァー）はそれを黙殺し、ゼインも突然解雇されてしまう。納得のいかないゼインは自宅に観測所を作り、隣に住む黒人の少年キキと共に観測を続け、その電波がメキシコから発している事を突き止めた。到着した現地で謎の男に命を狙われながらも、ゼインは山奥に存在するオムニテック社の巨大プラントに行き当たる。そこで彼は地球温暖化の研究を進めている科学者エレナ（Ｒ・クローズ）と出会う。彼女もまた異常気象の原因を究明していく内にこのプラントへたどり着いたのだった……。

「インデペンデンス・デイ」が全世界を席捲していた同時期に登場した同種の侵略ＳＦだが、勢いだけの「ＩＤ４」に比べると遙かにユニークで面白い。巨大プラントから二酸化炭素を排出して地球温暖化を進め、自分たちの住みやすい環境を作ろうとするエイリアンの地に足のついた設定がまずもって楽しいが、Ｄ・トゥーヒーの奇妙な味付けは至るところに施されている。なんせ主人公を殺すためにエイリアンの取る行動が、ホテルのバスタブを落下させたり、毒サソリを寝室に放つ程度の事だもの。大声張り上げて乱入して来た「ＩＤ４」とはまさに正反対の侵略ぶり。エイリアンの描写を含めたＳＦＸも申し分なし。

【クレジット】

監督	デヴィッド・トゥーヒー	David Twohy	
製作	トーマス・Ｇ・スミス	Thomas G. Smith	
	ジム・スティール	Jim Steele	
製作総指揮	テッド・フィールド	Ted Field	
	ロバート・Ｗ・コート	Robert W. Cort	
共同製作	サイラス・Ｉ・ヤヴネ	Cyrus I. Yavneh	
脚本	デヴィッド・トゥーヒー	David Twohy	
撮影	ヒロ・ナリタ	Hiro Narita	
プロダクションデザイン	マイケル・ノヴォトニー	Michael Novotny	
衣装デザイン	マイェス・Ｃ・ルベオ	Mayes C. Rubeo	
編集	マーティン・ハンター	Martin Hunter	
音楽	アーサー・ケンペル	Arthur Kempel	
視覚効果・プロデューサー	チャールズ・Ｌ・ファイナンス	Charles L. Finance	
出演	チャーリー・シーン	Charlie Sheen	ゼイン・ザミンスキー
	リンゼイ・クローズ	Lindsay Crouse	イラナ・グリーン
	テリー・ポロ	Teri Polo	シャー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

ロン・シルヴァー	Ron Silver	フィル・ゴーディアン
レオン・リッピー	Leon Rippy	
リチャード・シフ	Richard Schiff	カルヴィン
トニー・T・ジョンソン	Tony T. Johnson	キキ
フィリス・アップルゲイト	Phyllis Applegate	ルーズベルト夫人

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.